

プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち11月～3月号で、参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

プラチナ未来人財育成塾での学びとこれから

泗水中学校3年 西山陽菜さん



私が今回プラチナ未来人財育成塾に参加して心に残ったことは、日本と世界の未来についての話を聞き、グループで考えを深めたことです。私は、今まで未来の社会を深く考えたことがありませんでした。しかし、今日は、いろいろな視点から深く未来のことを考えることができました。

菊池康紀先生の講義では、未来人財として必要な要素は、「システム思考」だということを知りました。私たちが「今すべきこと」「できること」「したいこと」の3つをそれぞれ考え、未来につなげることが大切だと分かりました。

「今すべきこと」は未来を見据えながら今を考えること、「できること」は何でも諦めずに挑戦すること、「したいこと」は固定観念を捨てて、とにかく考えることが重要だと学びました。今、何が起きていて、これからどうするのかという問には、唯一絶対の正解はなく、考え続けることに価値があると学びました。

また、「今すべきこと」「したいこと」は経験や社会情勢、環境に影響を受

けて変わっていくが、「できること」は突然増えるものではないこと、「できること」を伸ばすためには、勉強と努力と訓練が必要であることが分かりました。そこで私たちが取り組むべきことは、一つ一つの物事をシス

テム思考で捉え、自分が「今すべきこと」「したいこと」「できること」を考え、実行に移すことです。

小宮山宏先生の講義では、プラチナ社会を実現するためには、誰か一人が行動することで、世界は変わり、脱炭素社会につながるということを知りました。そのため、私たちが今やるべきことは省エネです。

冬は室内の暖かさを保つことができ、夏は外の熱を遮断することができます。すぐに行動できることを、すぐに行動することは難しいことがあるかもしれません、少しづつ取り組んでいくことが大切だと思

ます。例え建物の窓を二重にするなど、あるかもしれませんが、少しづつ取り組んでいくことが大切だと思

います。

多くの先生方の話を聞き、グループでの活動を通して、いろいろな視点

プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち11月～3月号で、参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

よりよい社会の実現へ

泗水中学校3年 濑崎彩花さん



私は、東京での研修で、自分をさらに大きく成長させることができました。その成長につながった学びは5つあります。

1つ目は、「行動することの大切さ」です。日本の環境状態やリサイクルに関する講義では、考えているだけでは何も変わらないということが分かりました。「考えて終わりではなく、考えたことを行動に移すことにより、物事は良い方向へ大きく変化する」という言葉がとても印象に残りました。

2つ目は、「周りに目を向けること」です。今の私たちに必要な力は大きく3つです。まず、「未来を見据える力」です。10年から20年後を見据える時、現在と比較し、考えることで自分にできることが広がります。次に視野を広げ、よりよい社会をつくるいくためには「間違った固定観念をなくす力」が必要です。この力をつけることはもちろんですが、間違えた考えを持っている人に注意できるような環境をつくっていきたいです。

3つ目は、「諦めないこと」です。宇宙の仕組みとこれからの私たちの関わりについての講義でそのことを学びました。宇宙には予測できない、分からぬことがあります。それは私たちの生活でも同じです。しかし、分からぬままにするのではなく、諦めずに挑戦

し、やり抜くことを大切にし、みんなをより良い方向へ導くリーダーになりました。

4つ目は、「つながりを大切にすること」です。アフリカと日本とのこと

最後は「人に頼る力」です。私はこれまでの学校生活を振り返ると、リーダーだからと自分の仕事を無理して1人で抱え込んだことがありました。しかし、それは本物のリーダーではないと学びました。優れたリーダーには、助けたり支えたりしてくれる大勢のフォロワーがいる必要があります。これから本物のリーダーになるために周りの人を頼つて助けを求め、そのフォロワーを大事にしていける人になりたいと思いました。

最後の5つ目は、「仲間の大切さ」です。この5日間を通して、たくさんの人と関わり協力してきました。最終日に私の班では、学んだことを劇にして発表しました。台本を作ったり、模造紙に書き込んだりと役割分担し、協力し合い、発表はとても良いものになりました。また、一緒に東京へ行った仲間とも、分からぬところは、助け合い支え合い、とても良い絆ができました。

この5日間、普段の自分と向き合うことや、これから大切にしていくことや、これから大切なこと、今後の生活で生きたいことが分かり、今後の生活で生かしていきたいと思います。このよ

うな経験ができたことに感謝し、学校や社会に貢献できるような人になりたいと思います。